

## iTesting チャンネルによる HIV 検査体制の構築と確立のための研究

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科 国際保健看護学）

### 研究要旨

本研究は現行の HIV 検査体制に加えて様々な異なる形態の HIV 検査を実践し、より受検者にとっても医療従事者にとっても受検/施行可能な検査の導入を進める。

令和 4 年度は、アウトリーチグループとしては、HIV 検査の重要性を説明した啓発資材の作成および設置、検査の広報（SNS での発信・動画配信・多言語対応）、検査を評価するためのアンケートの作成（多言語対応）・解析、検査施行可能な場の模索、各コミュニティでの啓発活動、多言語対応した iTesting ウェブサイトの作成、評価を行った。受検者アンケート調査については令和 4 年度に名古屋市立大学看護学研究科の倫理審査を受審の上実施した。

受検者に WEB 上での結果サイトへアクセスする前に、任意で WEB 上での受検者アンケートへの協力を依頼した。第 1 回の検査会では、受検者 246 名のうち 189 名（76.8%）が、第 2 回の検査会では、受検者 270 名のうち、180 名（66.7%）が、第 3 回では受検者 286 名のうち、187 名（65.4%）がアンケートに回答した。

複数チャンネルの広報を実施した第 2 回の方が名古屋市居住者割合、女性割合、ヘテロセクシュアル割合、検査経験が初である割合が増加した。いずれの回でも結果通知サイトへのアクセスは、97%以上が簡単だったと回答していた。今後希望する検査の場所（iTesting 以外）については、「土曜日営業している病院クリニックでの検査」の希望が最も高かった。全検査会で受検者アンケートを実施し、来場者の特性把握が可能となった。次年度以降のよりハイリスク層へ届く検査プログラム実践と評価に活かし、最終的にはマニュアル作成へとつなげる。

### A. 研究目的

本研究は現行の HIV 検査体制に加えて様々な異なる形態の HIV 検査を実践し、より受検者にとっても医療従事者にとっても受検/施行可能な検査の導入を進める。最終的には、マニュアル策定を目指す。令和 4 年度は、多様な対象者に届くための検討、また 3 回検査会を実施し、受検者アンケートからどのような層が来場したかを明らかにすることを目指した。

### B. 研究方法

アウトリーチグループ：HIV 検査の重要性を説明した啓発資材の作成および設置、検査の広報（SNS での発信・動画配信・多言語対応）、検査を評価するためのアンケートの作成（多言語対応）・解析、検査施行可能な場の模索、各コミュニティでの啓発活動、多言語対応した iTesting ウェブサイトの作成を行う。

（倫理面への配慮）

検査は予約からすべて匿名検査で行っている。またアンケート調査も匿名検査で行い、名古屋医療センターまたは名古屋市立大学の研

究倫理審査を受けて行う。受検者アンケート調査については令和 4 年度に名古屋市立大学看護学研究科の倫理審査を受審の上実施した。

### C. 研究結果

＜受検者アンケートの実施＞

受検者に WEB 上での結果サイトへアクセスする前に、任意で WEB 上での受検者アンケートへの協力を依頼した。第 1 回の検査会では、受検者 246 名のうち 189 名（76.8%）が、第 2 回の検査会では、受検者 270 名のうち、180 名（66.7%）が、第 3 回では受検者 286 名のうち、187 名（65.4%）がアンケートに回答した（表 1）。

3 回分の受検者アンケート回答の基礎統計、回答分布比較は巻末資料に示す。複数チャンネルの広報を実施した第 2 回の方が名古屋市居住者割合、女性割合、ヘテロセクシュアル割合、検査経験が初である割合が増加した。いずれの回でも結果通知サイトへのアクセスは、97%以上が簡単だったと回答していた。今後希望する検査の場所（iTesting 以外）については、「土曜日営業している病院クリニックでの検査」

の希望が最も高かった。

表1 検査会の受検者、予約数、アンケート回答率

第1回検査会(6月26日(日)) ・受検者数 246名(予約数 300名、キャンセル率18%) ・結果確認済み受検者 245名 ・アンケート回答者数 189名、回答率 <b>76.8%</b>
第2回検査会(9月4日(日)) ・受検者数 270名(予約数 340名、キャンセル率21%) ・結果確認済み受検者 270名 ・アンケート回答者数 180名、回答率 <b>66.7%</b>
第3回検査会(12月4日(日)) ・受検者 286名(予約数 341名、キャンセル率16.1%) ・結果確認済み受検者 286名 ・アンケート回答者 187名、回答率 <b>65.4%</b>

#### D. 考察

広報の方法や予約可能期間により、受検者層が異なることがアンケートからも示された。結果サイトへのアクセスは97%以上が容易と回答しており、受検者が望む形態であることが示唆された。外国籍の受検者は毎回10名以上いるが、その実態がつかめておらず、今後の課題となる。今後は外国籍層へのアプローチのあり方、リスクが高いがHIV検査が届いていない層を見極め、その層へのアウトリーチ方法を検討する必要がある。

#### E. 結論

全検査会で受検者アンケートを実施し、第1回は76.8%、第2回は66.7%から協力を得ることが出来、来場者の特性把握が可能となった。次年度以降のよりハイリスク層へ届く検査プログラム実践と評価に活かし、最終的にはマニュアル作成へとつなげる。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Lisa Kawatsu, Noriyo Kaneko, Mayumi Imahashi, Keisuke Kamada, Kazuhiro Uchimura: Practices and attitudes towards tuberculosis and latent tuberculosis infection screening in people living with HIV/AIDS among HIV physicians in Japan.

AIDS Research and Therapy. 2022 Dec 3;19(1):60.

doi:10.1186/s12981-022-00487-8.

2. Noriyo Kaneko, Nigel Sherriff, Michiko Takaku, Jaime H Vera, Carlos Peralta, Kohta Iwahashi, Toshihiko Ishida, Massimo Mirandola: Increasing access to HIV testing for men who have sex with men in Japan using digital vending machine technology. International journal of STD and AIDS, 2022 Jun;33(7):680-686. doi:10.1177/09564624221094965. Epub 2022 May 3.
3. Lisa Kawatsu, Kazuhiro Uchimura, Noriyo Kaneko, Mayumi Imahashi: Epidemiology of coinfection with tuberculosis and HIV in Japan, 2012- 2020. Western Pacific Surveillance and Response, 13(1), 2022. DOI:10.5365/wpsar.2022.13.1.896

##### 2. 学会発表 海外

1. Lisa Kawatsu, Noriyo Kaneko, Mayumi Imahashi, Kazuhiro Uchimura: Practices and attitudes towards latent tuberculosis infection screening in people living with HIV/AIDS among HIV physicians in Japan: an evaluation study in a low tuberculosis and HIV/AIDS burden setting. 8th Asia Pacific Region Conference of International Union Against Tuberculosis and Lung Disease, Virtual, 2022

##### 国内

1. 金子典代: 市民・当事者目線で考える性感染症対策. パネルディスカッション「HIV対策の歴史から学ぶ」2, Fast-Track Cities Workshop Japan 2022, 東京, 2022
2. 荒木順、金子典代、木南拓也、岩橋恒太、藤原孝大: コミュニティセンターにおける相談・支援の実際と課題、「場」の効果について. 日本エイズ学会ワークショップ, 第36回日本エイズ学会学術集会・総会, 浜松, 2022
3. 羽柴知恵子、今橋真弓、金子典代、椎野禎一郎、横幕能行: 診療情報及び看護記録に基づくHIV感染者/エイズ患者の動向と疾病知識の普及啓発方法の検討. 第36回日本エイズ学会学術集会・総会, 浜松, 2022
4. 金子典代、浅沼智也、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史: 性

別違和・トランスジェンダー当事者における  
性産業従事経験、性行動、性感染症の罹患、  
検査の実態。第36回日本エイズ学会学術集  
会・総会，浜松，2022

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## iTesting アンケート 2022年度第1回～第3回 基礎統計表

		第1回 n=189		第2回 n=180		第3回 n=187	
<b>年齢区分</b>							
	29歳以下	40	21.2%	47	26.1%	62	33.2%
	30～39歳	65	34.4%	49	27.2%	58	31.0%
	40～49歳	49	25.9%	53	29.4%	35	18.7%
	50歳以上	35	18.5%	31	17.2%	32	17.1%
<b>国籍</b>							
	日本					173	92.5%
	その他					14	7.5%
<b>居住地</b>							
	名古屋市	86	45.5%	103	57.2%	110	58.8%
	愛知県（名古屋市除く）	65	34.4%	51	28.3%	60	32.1%
	岐阜県	19	10.1%	13	7.2%	6	3.2%
	三重県	8	4.2%	7	3.9%	5	2.7%
	静岡県	6	3.2%	1	0.6%	3	1.6%
	その他	5	2.6%	5	2.8%	3	1.6%
<b>性別</b>							
	男性	182	96.3%	156	86.7%	152	27.0%
	女性	6	3.2%	24	13.3%	34	18.2%
	その他	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%
<b>セクシュアリティ</b>							
	男性同性愛者（ゲイ）	131	69.3%	83	46.1%	66	35.3%
	両性愛者（バイセクシュアル）	30	15.9%	28	15.6%	28	15.0%
	女性同性愛者（レズビアン）	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
	異性愛者（ヘテロセクシュアル）	19	10.1%	57	31.7%	77	41.2%
	分からない・その他	9	4.8%	12	6.7%	15	8.0%
<b>就労状況</b>							
	正社員	137	72.5%	127	70.6%	140	74.9%
	非正規	7	3.7%	12	6.7%	9	4.8%
	自営	14	7.4%	8	4.4%	5	2.7%
	パート・アルバイト	13	6.9%	13	7.2%	8	4.3%
	無職	5	2.6%	9	5.0%	7	3.7%
	学生	5	2.6%	9	5.0%	16	8.6%
	その他	8	4.2%	2	1.1%	2	1.1%
<b>これまでのHIV検査（エイズ検査）の受検経験</b>							
	ある	142	75.1%	119	66.1%	114	61.0%
	ない	47	24.9%	61	33.9%	73	39.0%
<b>直近のHIV検査の受検場所</b>							
	病院やクリニックでの検査	20	14.1%	9	7.6%	16	14.0%
	保健所（平日昼間検査）	24	16.9%	22	18.5%	12	10.5%
	保健所（平日夜間検査）	12	8.5%	6	5.0%	2	1.8%
	保健所（土曜日検査）	24	16.9%	16	13.4%	15	13.2%
	名古屋市ナディアパーク日曜検査	24	16.9%	43	36.1%	54	47.4%
	NLGR+検査会	21	14.8%	13	10.9%	5	4.4%
	M検（千種保健所、岐阜）	2	1.4%	1	0.8%	0	0.0%
	自宅検査・郵送検査	14	9.9%	6	5.0%	8	7.0%
	その他	1	0.7%	3	2.5%	2	1.8%
<b>直近のHIV検査の受検時期</b>							
	過去1年の間	66	46.5%	61	51.3%	69	60.5%
	過去1年より前	76	53.5%	58	48.7%	45	39.5%

	第1回 n=189	第2回 n=180	第3回 n=187
これまでにかかった性感染症（複数回答）			
梅毒			20 10.7%
A型肝炎			0 0.0%
B型肝炎			9 4.8%
C型肝炎			2 1.1%
クラミジア			25 13.4%
尖圭コンジローマ			9 4.8%
淋病			11 5.9%
HIV感染症			2 1.1%
赤痢アメーバ			2 1.1%
毛じらみ			11 5.9%
性器ヘルペス			3 1.6%
感染したことがない			125 66.8%
今回のHIVと性感染症検査の受検理由（複数回答）			
自分が感染している可能性があるから	36 19.0%	27 15.0%	20 10.7%
他の人に感染させたくないから	58 30.7%	48 26.7%	56 29.9%
定期的に検査を受けているから	76 40.2%	75 41.7%	76 40.6%
情報に触れて自分のことが心配になったから	21 11.1%	19 10.6%	24 12.8%
友達と一緒に受けることにしたから	5 2.6%	4 2.2%	1 0.5%
恋人と一緒に受けることにしたから	3 1.6%	6 3.3%	9 4.8%
コンドームを使わないオーラルセックスをしたから	43 22.8%	34 18.9%	35 18.7%
コンドームを使わないアナルセックスをしたから	53 28.0%	35 19.4%	28 15.0%
コンドームを使わない異性とのセックスをしたから	10 5.3%	20 11.1%	17 9.1%
体調に変化があり、感染の不安を感じたから	3 1.6%	6 3.3%	5 2.7%
性感染症（STI）にかかったから	3 1.6%	1 0.6%	3 1.6%
新しい恋人ができたから	5 2.6%	8 4.4%	9 4.8%
身近な人の感染がわかったから	0 0.0%	1 0.6%	2 1.1%
ただ単に知りたいから	52 27.5%	57 31.7%	51 27.3%
コロナでHIVや性感染症検査を受ける機会がなかったから	25 13.2%	13 7.2%	14 7.5%
その他	3 1.6%	3 1.7%	0 0.0%
過去6か月間に利用した施設等（複数回答）			
ゲイバーやレズビアンバー	32 16.9%	24 13.3%	26 13.9%
ゲイナイト（クラブ）	12 6.3%	8 4.4%	9 4.8%
有料のハッテン場	41 21.7%	26 14.4%	24 12.8%
野外系のハッテン場（公園、海岸、トイレなど）	31 16.4%	21 11.7%	13 7.0%
ハッテン場で有名な銭湯・プールなどの施設	22 11.6%	18 10.0%	15 8.0%
利用したものはなし	101 53.4%	121 67.2%	131 70.1%
過去6か月間に利用したインターネットサイト等（複数回答）			
パソコンの出会い系サイトや掲示板	26 13.8%	20 11.1%	23 12.3%
携帯の出会い系サイトや掲示板	53 28.0%	46 25.6%	29 15.5%
ゲイ向けSNS（HuGs、Men's mixi、男子寮など）	18 9.5%	17 9.4%	11 5.9%
Jack'dや9monstersなど位置情報が必要なサイト	131 69.3%	84 46.7%	70 37.4%
利用したものはなし	34 18.0%	65 36.1%	92 49.2%
この結果通知サイトへのアクセスは簡単だったか			
簡単だった	184 97.4%	176 97.8%	176 95.2%
難しかった	4 2.1%	3 1.7%	9 4.8%
その他	1 0.5%	1 0.6%	0 0.0%

	第1回 n=189		第2回 n=180		第3回 n=187	
この検査会をどこで知ったか						
名古屋市ウェブサイト「なごや・性感染症ガイド」	26	13.8%	36	20.0%	49	26.2%
愛知県ウェブサイト「アイチエイスインフォメーション」	3	1.6%	3	1.7%	3	1.6%
HIV検査相談マップ	7	3.7%	1	0.6%	1	0.5%
Twitter（名古屋医療センター）	4	2.1%	3	1.7%	1	0.5%
Twitter（コミュニティセンターrise）	10	5.3%	6	3.3%	9	4.8%
アプリ「9monsters」の広告	131	69.3%	78	43.3%	50	26.7%
広報なごや	0	0.0%	10	5.6%	8	4.3%
市営地下鉄広告	0	0.0%	30	16.7%	51	27.3%
Yahoo!インターネット広告	0	0.0%	3	1.7%	0	0.0%
友人・知人など	5	2.6%	7	3.9%	13	7.0%
その他	3	1.6%	3	1.7%	2	1.1%
今後希望する検査場所（複数回答）						
自宅で郵送検査	56	29.6%	44	24.4%	62	33.2%
土曜日もオープンしている病院・クリニックでの検査	103	54.5%	95	52.8%	96	51.3%
平日夜までオープンしている病院・クリニックでの検査	66	34.9%	72	40.0%	71	38.0%
コミュニティセンターでの検査	95	50.3%	86	47.8%	91	48.7%
その他	5	2.6%	8	4.4%	5	2.7%
iTesting受検経験						
今回が初めて					145	77.5%
2回目					35	18.7%
3回目以上					7	3.7%

図1. 年齢区分

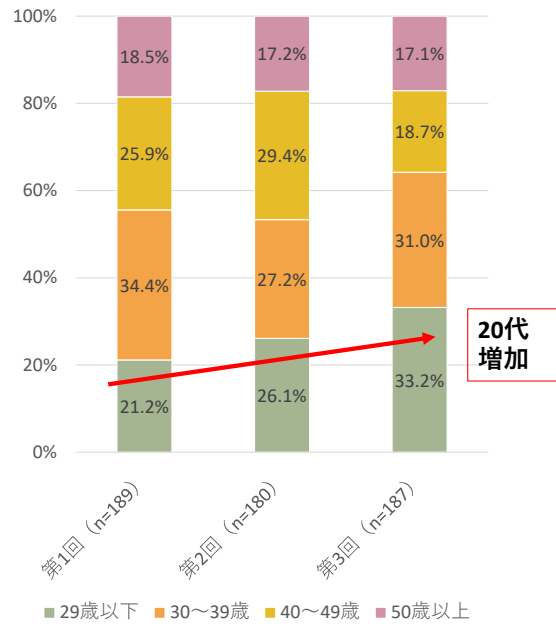


図2. 国籍

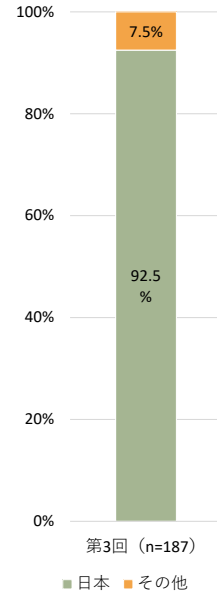


図3. 居住地

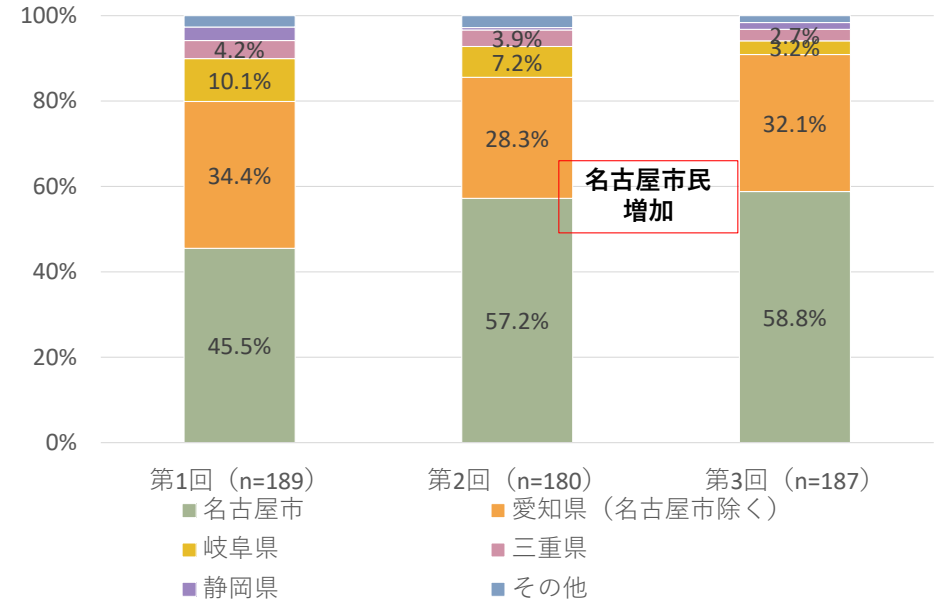


図4. 性別

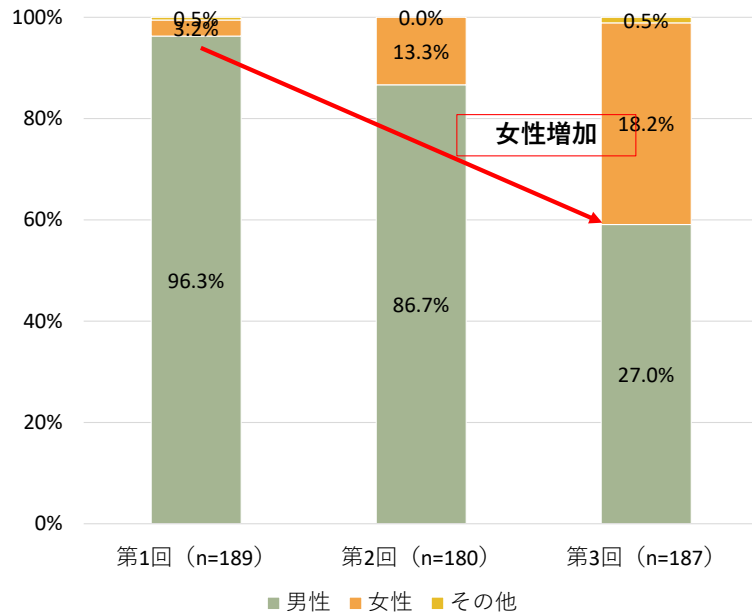


図5. セクシュアリティ

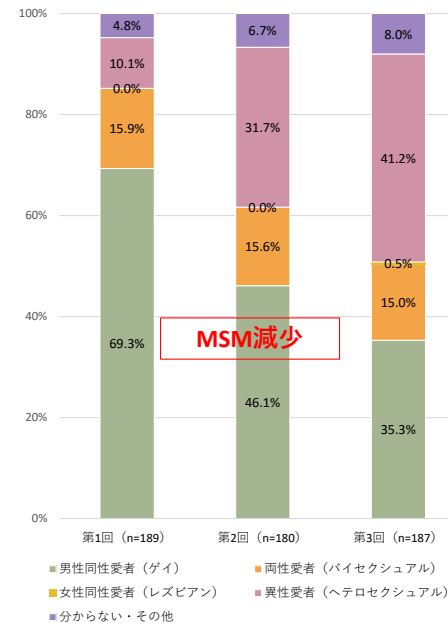


図6. 就労状況

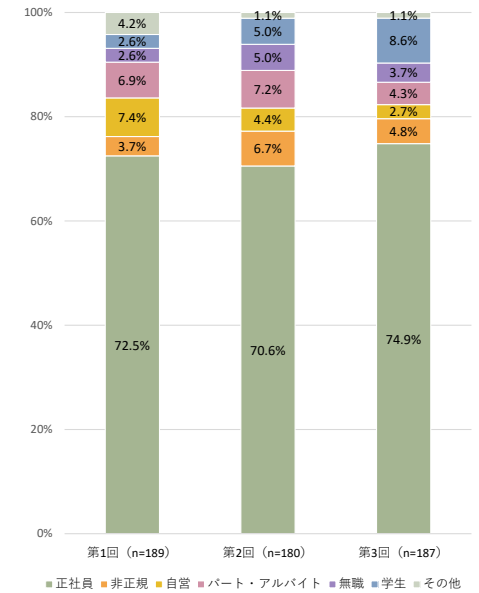


図7 これまでのHIV検査受検経験 (ありの割合)

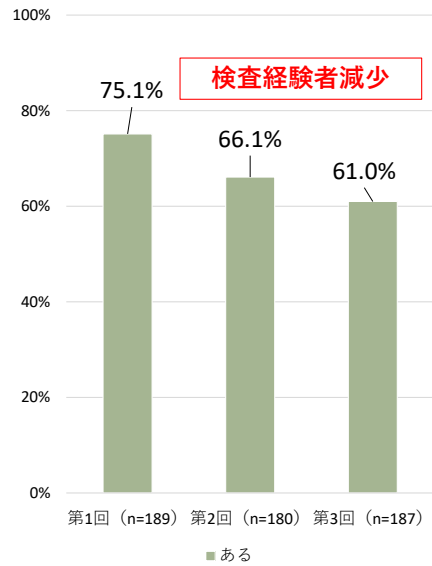


図8 直近のHIV検査の受検時期

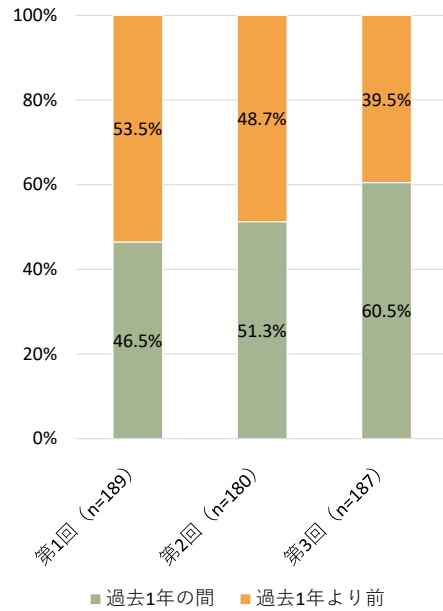


図9 これまでにかかった性感染症 (複数回答)

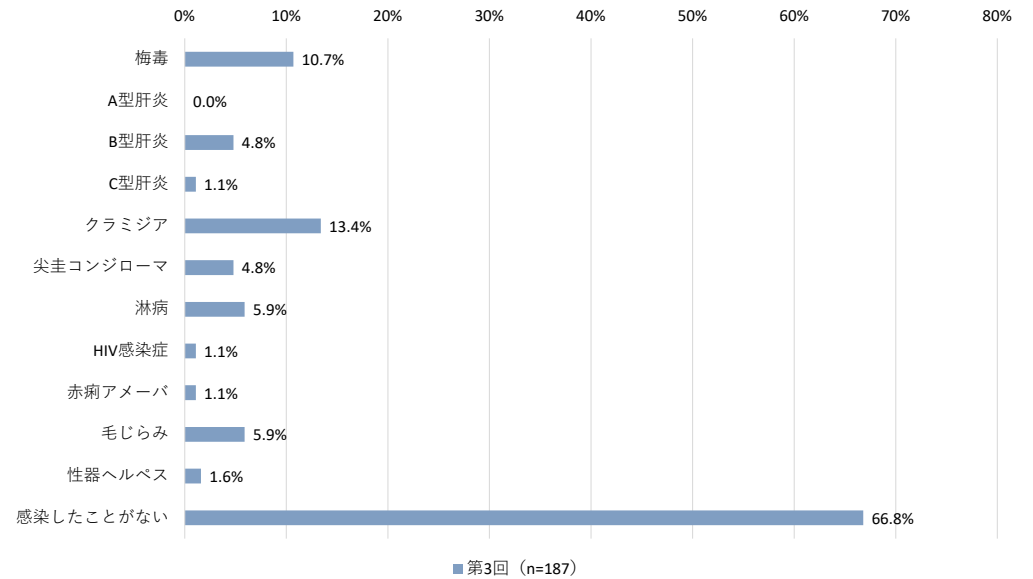


図10 今回の受検理由 (複数回答)

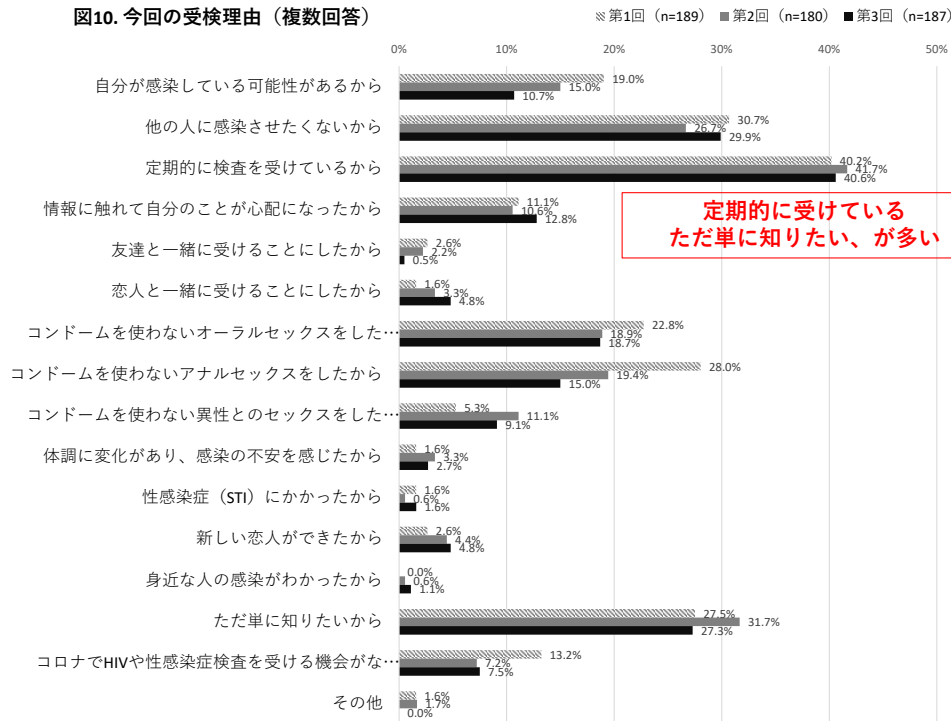


図11 過去6か月間に利用した施設等 (複数回答)

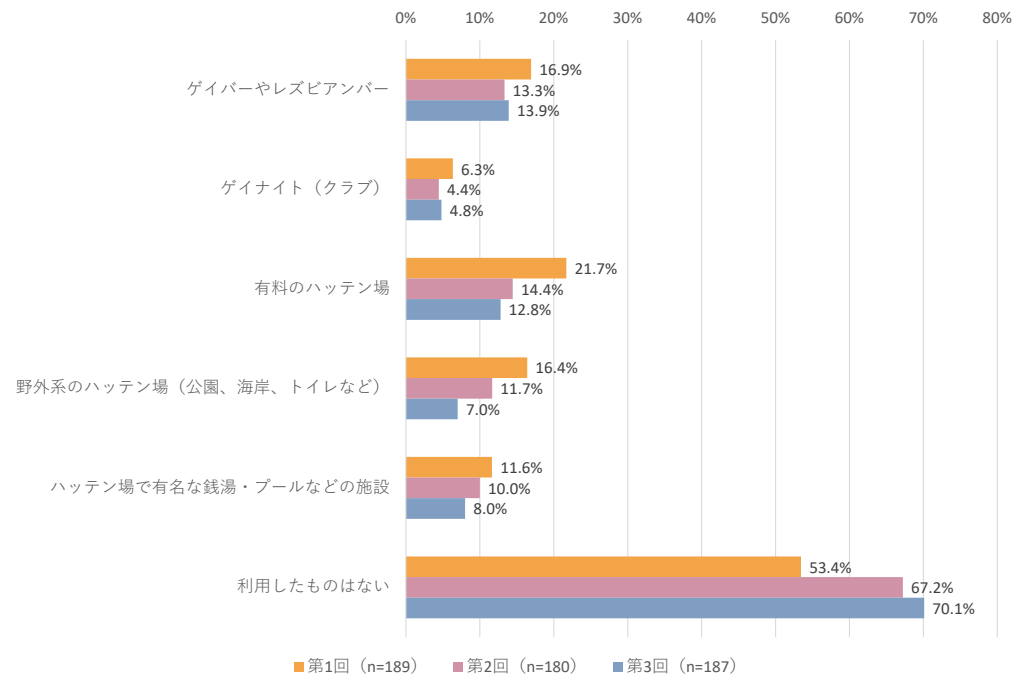




図12 過去6か月間に利用したインターネット等（複数回答）

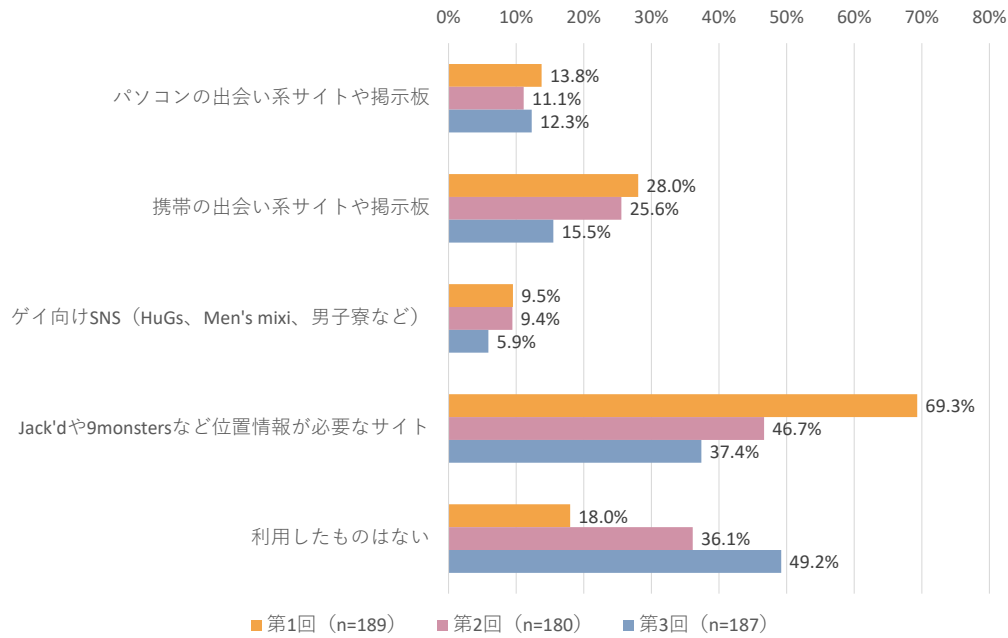


図13 結果通知サイトへのアクセスは簡単だったか

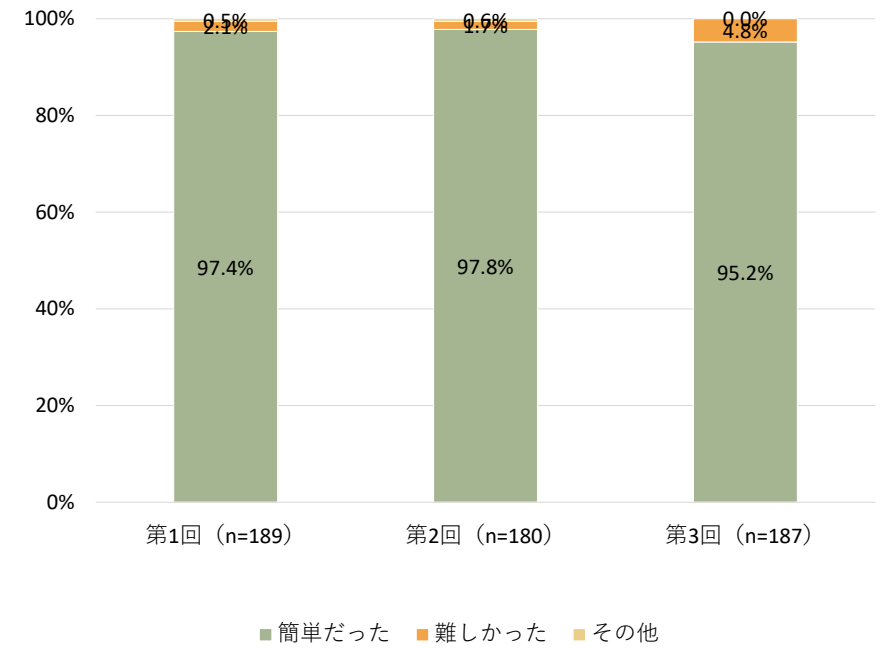


図14 今後、希望する検査場所（複数回答）

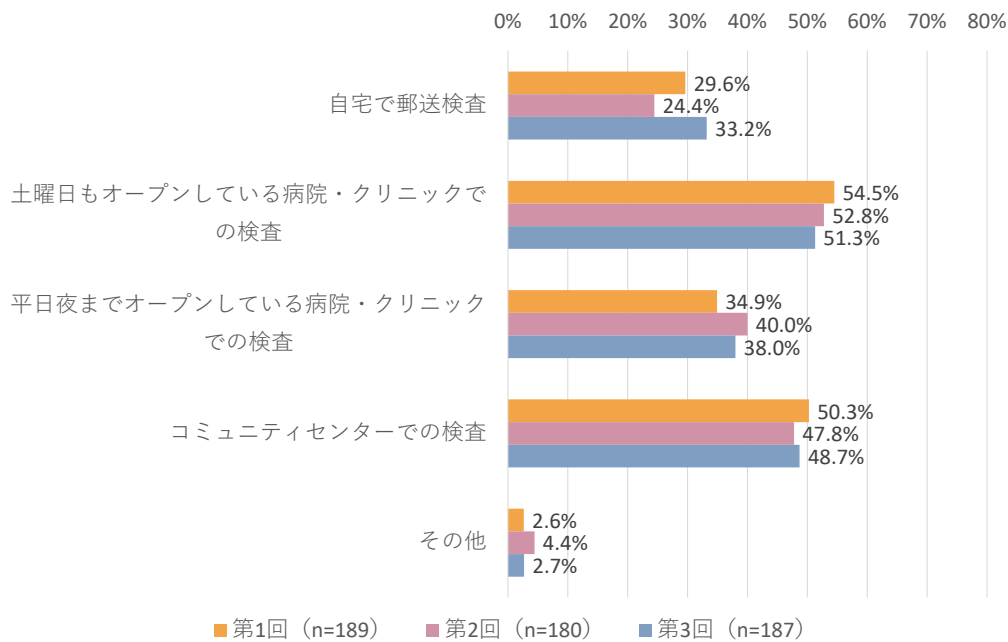


図15. iTesting受検経験

